

郵便
報知新聞
第五百五十五号

大坂船越町小骨接七業と云ふ松本
阿いと呼ぶ婦人あり年猶廿六才なるが
日頃より柔術をも長け其研ぶ
きを以て人其勇を知らぬの故に近き
頃隣家の娘と連立て長柄川の
堤と通りしに川風来きわぬれ
時四人の荒男躍り出でわあんと
隣の娘とて兩人つとめて取わんと
強淫あらんと為せしむれば阿いと
大に怒りて組付ると一人を水中
投ると又一人を撞とて隣の娘と押
臥せ上りて一人の領髪とつて
槍刺し拳を堅めて人の眼の辺を
打たれ何れも恐と逃散る

とねるの因縁結



大坂船越町

彫工銀
庄錦昇堂

70
65
60
55
50
45
40
35
30
25